

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

高野会理念である5S(Smile・Service・Study・Safety・Speciality)を実践し、医療機関として安全かつ高度な技術による診療の提供を行うために職員一人一人が日々研鑽し、地球に人にやさしい医療活動を通してSDGs(すべての人に健康と福祉を)を達成していく。

また、九州各県の行政機関等と共に大腸がん撲滅のための早期発見と啓発活動で大腸がん患者の減少を目指すとともに、進行する高齢化社会において排泄の自立によるQOL向上活動を通し、健康な社会づくりに貢献したい。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に◎)	SDGsに関する重点的な取組み	指標
○環境 ◎社会 ○経済	大腸がん撲滅を目的とした大腸がんバス検診を含むがん検診推進やリレーフォーライフ・患者会活動による患者支援、健康づくり講演会による啓発活動、地域包括支援センターとの交流やストーマケアセミナーによる他医療機関等への情報提供や人材育成、AAT(動物介在療法)活動による施設訪問、へき地医療支援病院としてへき地に医師を派遣するなど、様々な切り口による地域社会の健康作りへの取組み。	高齢化社会への医療を通じた貢献を目的に、2024年までに高齢者排泄障害協議会の立ち上げを行う。
◎環境 ◎社会 ○経済	くまもとアートポリス事業参加の建物であり、同事業のコンセプト「自然に開き、人と和(わ)す」を実践している。 建築にあたっては環境負荷の低減や建物・設備の各所に環境への配慮を行っている。	CO2削減を目的に、2024年までに更新する病院車をHV車またはEV車に入れ替える。
○環境 ◎社会 ◎経済	熊本県と福岡県、宮崎県に施設を有し、大腸肛門分野における検診・治療・啓発活動を通して、大腸がんの早期発見や早期治療を推進している。便潜血検査については、生協のネットワークを利用し全国に展開している。	毎年検診地域の拡大、検診受診者増を目指している。2024年までに年間受診者数2020年度比1割増(134,000人)を達成させる。

<パートナーシップ>

理事長等が県医療審議会の委員、全国病院団体の理事、日本医学会分科会の理事を務め、そのうち一部事務局を法人内に設置するなど、行政や関係団体と連携を図っており、更に多施設共同研究にも積極的に取り組むなど、地域医療の発展及び医学の進歩に尽力している。また、大腸がん検診受診率向上を目的に、モデル事業として合志市と包括的連携協定を結び、検診事業を推進している。

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。